

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第1回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	仕入取引（消費税）	高・中・低	1-4	✓✓✓✓✓	
2	電子記録債権	高・中・低	3-2	✓✓✓✓✓	
3	当座借越（決算処理①）	高・中・低	4-6	✓✓✓✓✓	
4	固定資産の購入（付随費用あり②）	高・中・低	7-2	✓✓✓✓✓	
5	社会保険料の天引き	高・中・低	10-3	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第2回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	仕入取引（他人振出小切手）	高・中・低	1-6	✓✓✓✓✓	
2	クレジット売掛金	高・中・低	3-1	✓✓✓✓✓	
3	借入金の返済	高・中・低	5-4	✓✓✓✓✓	
4	所得税の納付	高・中・低	10-2	✓✓✓✓✓	
5	消費税（決算処理）	高・中・低	10-8	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第3回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	仕入取引（当社負担の仕入諸掛り）	高・中・低	1-2	✓✓✓✓✓	
2	債権の貸倒れ（前期に発生した債権②）	高・中・低	3-5	✓✓✓✓✓	
3	現金過不足（期中に判明）	高・中・低	4-1	✓✓✓✓✓	
4	預金取引（複数口座に預け入れ）	高・中・低	4-9	✓✓✓✓✓	
5	消耗品の購入	高・中・低	9-1	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第4回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	売上取引（当社負担の売上諸掛り）	高・中・低	2-2	✓✓✓✓✓	
2	現金過不足（期中判明分の一部処理）	高・中・低	4-2	✓✓✓✓✓	
3	貸付金の回収	高・中・低	5-2	✓✓✓✓✓	
4	固定資産の売却（期首）	高・中・低	7-5	✓✓✓✓✓	
5	設立時の新株発行	高・中・低	11-1	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第5回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	仕入取引（前払金・手形取引）	高・中・低	1-1	✓✓✓✓✓	
2	債権の回収（前期に貸倒れ処理）	高・中・低	3-7	✓✓✓✓✓	
3	仮払金の計上	高・中・低	6-3	✓✓✓✓✓	
4	貯蔵品の決算処理	高・中・低	9-3	✓✓✓✓✓	
5	社会保険料の納付	高・中・低	10-4	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第6回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	保険料の前払い（毎年同額を支払中）	高・中・低	12-4	✓✓✓✓✓	
2	仮受金の計上	高・中・低	6-1	✓✓✓✓✓	
3	固定資産の購入（付随費用あり①）	高・中・低	7-1	✓✓✓✓✓	
4	所得税の源泉徴収	高・中・低	10-1	✓✓✓✓✓	
5	剰余金の配当	高・中・低	11-3	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第7回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	現金過不足（期中判明分の決算処理）	高・中・低	4-3	✓✓✓✓✓	
2	預金取引（複数口座間の移動）	高・中・低	4-10	✓✓✓✓✓	
3	仮払金の振り替え	高・中・低	6-4	✓✓✓✓✓	
4	商品券の受け取り	高・中・低	8-1	✓✓✓✓✓	
5	固定資産税の納付（未払金を計上しない方法）	高・中・低	10-5	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第8回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	売上取引（消費税）	高・中・低	2-3	✓✓✓✓✓	
2	現金過不足（決算で判明）	高・中・低	4-4	✓✓✓✓✓	
3	当座借越（期中処理）	高・中・低	4-5	✓✓✓✓✓	
4	固定資産の修繕	高・中・低	7-9	✓✓✓✓✓	
5	決算振替仕訳（当期純利益の振り替え）	高・中・低	13-2	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第9回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	売上取引（前受金・手形取引）	高・中・低	2-1	✓✓✓✓✓	
2	仮受金の振り替え	高・中・低	6-2	✓✓✓✓✓	
3	売上原価の算定（仕入勘定）	高・中・低	12-1	✓✓✓✓✓	
4	貯蔵品の購入	高・中・低	9-2	✓✓✓✓✓	
5	法人税等（決算処理）	高・中・低	10-10	✓✓✓✓✓	

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第10回

問	論点	難度	WEB 解説	チェック欄	自由記入欄
1	仕入取引（販売用の固定資産）	高・中・低	1-5	✓✓✓✓✓	
2	電子記録債務	高・中・低	3-3	✓✓✓✓✓	
3	債権の貸倒れ（前期に発生した債権①）	高・中・低	3-4	✓✓✓✓✓	
4	固定資産の売却（期中）	高・中・低	7-6	✓✓✓✓✓	
5	法人税等（中間納付）	高・中・低	10-9	✓✓✓✓✓	

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第1回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

- 徳川商店から商品 ¥ 1,000,000 を仕入れ、代金は消費税（10%）を含めて掛けとした。なお、消費税は税抜方式で記帳処理している。  
ア. 仮払消費税    イ. 未払金    ウ. 仕入    エ. 租税公課    オ. 買掛金    カ. 仮受消費税
- 朝倉商店に対する売掛金 ¥ 180,000 について、同店の承諾を得たうえで、取引銀行を通じて電子記録債権の発生記録を行った。  
ア. 売掛金    イ. 電子記録債務    ウ. 未収入金    エ. 買掛金    オ. 電子記録債権    カ. 普通預金
- 決算において、当座預金勘定の貸方残高 ¥ 100,000 を適切な勘定に振り替える。  
ア. 損益    イ. 当座預金    ウ. 貸付金    エ. 当座借越    オ. 普通預金    カ. 未払金
- 商品運搬用の軽自動車3台（@¥ 1,000,000）を購入し、代金のうち ¥ 2,000,000 は小切手を振り出して支払い、残額は翌々月から5か月の分割払いとした。なお、購入にともない発生した諸費用 ¥ 60,000 は現金で支払った。  
ア. 現金    イ. 買掛金    ウ. 当座預金    エ. 未払金    オ. 支払手数料    カ. 車両運搬具
- 従業員への給料の支払いにあたり、給料総額 ¥ 2,000,000 から、従業員が負担すべき社会保険料（健康保険料 ¥ 100,000 および厚生年金保険料 ¥ 150,000）を差し引き、残額を普通預金口座から振り込んだ。  
ア. 当座預金    イ. 社会保険料預り金    ウ. 給料    エ. 法定福利費    オ. 保険料    カ. 普通預金

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第2回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 柴田商店から商品 ¥ 700,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 500,000 は以前に受け取って保管していた他店振り出しの小切手を手渡し、残額は掛けとした。

ア. 当座預金    イ. 買掛金    ウ. 立替金    エ. 現金    オ. 未払金    カ. 仕入

2. 商品 ¥ 200,000 をクレジット払いの条件で販売するとともに、信販会社へのクレジット手数料（商品代金の3%）をあわせて計上した。

ア. 売上    イ. 支払利息    ウ. 支払手数料    エ. 未収入金    オ. 受取手数料  
カ. クレジット売掛金

3. 立花商店に対する借入金 ¥ 3,000,000 を、9か月分の利息（月割計算）とともに、小切手を振り出して支払った。なお、利息は年利4%で計算する。

ア. 借入金    イ. 未払金    ウ. 受取利息    エ. 貸付金    オ. 当座預金    カ. 支払利息

4. 源泉徴収した7月から12月までの所得税 ¥ 600,000 を、所轄の税務署の納税窓口にて現金で納付した。なお、当社は前期より納期の特例承認を受けている。

ア. 法定福利費    イ. 租税公課    ウ. 所得税預り金    エ. 立替金    オ. 現金    カ. 未払金

5. 決算にあたり、消費税の納付額を計算し、これを確定した。なお、当期の消費税仮払分は ¥ 80,000、消費税仮受分は ¥ 240,000 であり、消費税は税抜方式で記帳処理している。

ア. 仮受消費税    イ. 租税公課    ウ. 損益    エ. 仮払消費税    オ. 現金    カ. 未払消費税

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第3回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 豊臣商店から商品 ¥ 600,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、商品の引取運賃 ¥ 5,000 は現金で支払った。  
ア. 買掛金    イ. 支払運賃    ウ. 仕入    エ. 未払金    オ. 支払手数料    カ. 現金
2. 前期に発生した売掛金 ¥ 200,000 が貸し倒れた。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 180,000 である。  
ア. 未収入金    イ. 貸倒引当金    ウ. 売掛金    エ. 貸倒引当金繰入    オ. 貸倒損失    カ. 損益
3. 月末に金庫を実査したところ、紙幣・硬貨 ¥ 181,800、得意先振出小切手 ¥ 50,000、得意先振出約束手形 ¥ 80,000、郵便切手 ¥ 8,200、収入印紙 ¥ 2,000、送金小切手 ¥ 10,000 が保管されていたが、現金出納帳の残高は ¥ 260,000 であった。現時点で不一致の原因は不明のため、現金過不足勘定で処理することにした。  
ア. 当座預金    イ. 通信費    ウ. 受取手形    エ. 現金    オ. 租税公課    カ. 現金過不足
4. 松平銀行と今川銀行に普通預金口座を開設し、それぞれの口座に ¥ 1,000,000 ずつ現金を預け入れた。なお、当社では複数の金融機関において預金口座を開設する予定があるため、口座ごとに勘定を設定することにした。  
ア. 資本金    イ. 普通預金松平銀行    ウ. 当座預金朝比奈銀行    エ. 現金    オ. 当座預金井伊銀行  
カ. 普通預金今川銀行
5. 事務用消耗品 ¥ 50,000 を購入し、代金のうち ¥ 20,000 は手元にあった郵便為替証書で支払い、残額は後日支払うことになった。  
ア. 消耗品費    イ. 未払金    ウ. 通信費    エ. 当座預金    オ. 現金    カ. 備品

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第4回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 武田商店に商品 ¥ 180,000 を販売し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥ 5,000 (当方負担) は現金で支払った。  
ア. 売上    イ. 立替金    ウ. 売掛金    エ. 未収入金    オ. 発送費    カ. 現金
2. 先月末の実査において、現金の実際有高が帳簿残高よりも ¥ 18,200 不足していることが判明したため現金過不足勘定で処理していたが、本日、旅費交通費 ¥ 7,000 が記入漏れとなっていることが判明した。  
ア. 当座預金    イ. 旅費交通費    ウ. 雑損    エ. 現金    オ. 雑益    カ. 現金過不足
3. 大友商店に対する貸付金 ¥ 3,000,000 を、9 か月分の利息 (月割計算) とともに、同店振り出しの小切手で回収した。なお、利息は年利 4% で計算する。  
ア. 貸付金    イ. 当座預金    ウ. 支払利息    エ. 現金    オ. 受取利息    カ. 借入金
4. 事務機器 (取得原価 : ¥ 360,000、残存価額 : ゼロ、耐用年数 : 5 年、償却方法 : 定額法、記帳方法 : 間接法) を 3 年間使用してきたが、4 年目の期首に ¥ 100,000 で売却し、代金は現金で受け取った。  
ア. 固定資産売却損    イ. 現金    ウ. 減価償却累計額    エ. 備品    オ. 固定資産売却益  
カ. 減価償却費
5. 会社の設立にあたり、株式 1,000 株を 1 株あたり ¥ 600 の価額で発行し、全額の払込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、発行価額の全額を資本金とする。  
ア. 繰越利益剰余金    イ. 利益準備金    ウ. 預り金    エ. 損益    オ. 資本金    カ. 当座預金

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第5回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 織田商店にかねて注文しておいた商品 ¥ 800,000 を受け取った。代金のうち ¥ 400,000 は織田商店宛ての約束手形を振り出し、¥ 300,000 はすでに支払っていた手付金と相殺し、残額は掛けとした。  
ア. 買掛金    イ. 仕入    ウ. 仮払金    エ. 受取手形    オ. 支払手形    カ. 前払金
2. 前期に貸し倒れ処理していた得意先に対する売掛金 ¥ 400,000 のうち ¥ 100,000 が回収され、当社の普通預金口座に振り込まれた。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 150,000 である。  
ア. 貸倒引当金    イ. 貸倒損失    ウ. 売掛金    エ. 普通預金    オ. 貸倒引当金戻入  
カ. 償却債権取立益
3. 従業員の出張にあたって、旅費の概算額 ¥ 50,000 を現金で手渡した。  
ア. 旅費交通費    イ. 前払金    ウ. 仮払金    エ. 当座預金    オ. 現金    カ. 従業員立替金
4. 決算において貯蔵品の棚卸しを行ったところ、収入印紙 ¥ 1,000 と郵便切手 ¥ 840 が未使用のまま残っていることが判明したため、適切な勘定に振り替える。  
ア. 通信費    イ. 繰越商品    ウ. 仮払金    エ. 貯蔵品    オ. 法定福利費    カ. 租税公課
5. 給料から差し引いた社会保険料の従業員負担額（健康保険料 ¥ 100,000 および厚生年金保険料 ¥ 150,000）と、会社負担額（従業員負担額と同額）をまとめて現金で納付した。  
ア. 社会保険料預り金    イ. 保険料    ウ. 現金    エ. 従業員立替金    オ. 法定福利費  
カ. 租税公課

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第6回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 決算において、保険料の前払いを適切に処理する。当社の会計期間は4月1日から3月31日までの1年間で、毎年12月1日にかねてより保有している建物にかかる向こう1年分の保険料を支払っている。なお、決算整理前残高試算表の保険料の金額は ¥ 400,000 である。

ア. 前払金    イ. 仮払金    ウ. 前払保険料    エ. 減価償却費    オ. 保険料    カ. 建物

2. 出張中の従業員から ¥ 60,000 の送金小切手が会社宛てに送られてきたが、現時点ではその詳細は不明である。

ア. 当座預金    イ. 受取手形    ウ. 前受金    エ. 預り金    オ. 仮受金    カ. 現金

3. 店舗拡張のため、土地 300 m<sup>2</sup>を 1 m<sup>2</sup>につき ¥ 10,000 で購入し、代金は登記費用 ¥ 100,000 とともに小切手を振り出して支払った。

ア. 普通預金    イ. 支払地代    ウ. 租税公課    エ. 土地    オ. 当座預金    カ. 支払手数料

4. 従業員への給料の支払いにあたり、給料総額 ¥ 1,000,000 から、従業員への貸付金の返済分 ¥ 200,000 と所得税の源泉徴収分 ¥ 100,000 を差し引き、手取額を当座預金口座から従業員の普通預金口座へ振り替えて支給した。

ア. 所得税預り金    イ. 従業員貸付金    ウ. 当座預金    エ. 給料    オ. 従業員立替金  
カ. 普通預金

5. 株主総会において、以下のように繰越利益剰余金の処分が行われた。

株主配当金    :    ¥ 500,000

利益準備金積立額    :    ¥ 50,000

ア. 繰越利益剰余金    イ. 損益    ウ. 未払配当金    エ. 資本金    オ. 利益準備金    カ. 現金



### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第7回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 決算において、現金過不足（不足額） ¥ 11,200 の原因を改めて調査した結果、通信費 ¥ 16,200 の支払い、および手数料の受取額 ¥ 5,400 の記入漏れが判明した。なお、残りの金額は原因が不明であるため、適切な処理を行う。

ア. 雑益    イ. 受取手数料    ウ. 雑損    エ. 現金    オ. 現金過不足    カ. 通信費

2. 資金を移動するために、宇喜多銀行の普通預金口座から毛利銀行の普通預金口座に ¥ 500,000 を振り込んだ。なお、振り込みにあたり ¥ 500 の手数料が発生した。

ア. 当座預金三村銀行    イ. 支払手数料    ウ. 普通預金毛利銀行    エ. 当座預金浦上銀行  
オ. 通信費    カ. 普通預金宇喜多銀行

3. 従業員が出張から戻り、旅費の残額 ¥ 10,000 と得意先から回収した売掛金 ¥ 60,000 を現金で受け取った。なお、従業員の出張にあたって、旅費の概算額 ¥ 50,000 を現金で手渡していた。

ア. 現金    イ. 旅費交通費    ウ. 前払金    エ. 従業員立替金    オ. 売掛金    カ. 仮払金

4. 最上商店に商品 ¥ 300,000 を売り上げ、代金のうち ¥ 200,000 は自治体が発行した商品券を受け取り、残額は掛けとした。

ア. 未収入金    イ. 売上    ウ. 売掛金    エ. 受取手数料    オ. 受取手形    カ. 受取商品券

5. 建物と土地に対する固定資産税 ¥ 720,000 の納税通知書を受け取り、第1期分 ¥ 180,000 を現金で納付した。

ア. 現金    イ. 仮払法人税等    ウ. 建物    エ. 土地    オ. 租税公課    カ. 法定福利費

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第8回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 明智商店に商品 ¥ 3,000,000 を売り上げ、代金は消費税（10%）を含めて掛けとした。なお、消費税は税抜方式で記帳処理している。

ア. 仮払消費税    イ. 売上    ウ. 租税公課    エ. 仮受消費税    オ. 売掛金    カ. 未払消費税

2. 決算において、現金の手許有高を調べたところ、帳簿残高は ¥ 260,000 であるのに対して、実際有高は ¥ 241,800 であった。原因を調査した結果、旅費交通費 ¥ 7,000 および通信費 ¥ 16,200 の支払い、手数料の受取額 ¥ 5,400 の記入漏れが判明した。なお、残りの金額は原因が不明であるため、適切な処理を行う。

ア. 雑損    イ. 通信費    ウ. 雑益    エ. 現金    オ. 受取手数料    カ. 旅費交通費

3. 伊達商店から商品 ¥ 600,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。当座預金の残高は ¥ 500,000 であるが、取引銀行と借越限度額 ¥ 1,000,000 の当座借越契約を締結している。

ア. 当座預金    イ. 借入金    ウ. 普通預金    エ. 当座借越    オ. 未払金    カ. 仕入

4. 建物の改良と修繕を行い、代金 ¥ 5,000,000 を月末に支払うことにした。なお、¥ 5,000,000 の内訳は以下のように見積もられた。

建物の資産価値を高めるための支出（資本的支出）    :    ¥ 3,000,000

建物の現状の機能を維持するための支出（収益的支出）    :    ¥ 2,000,000

ア. 未払金    イ. 資本金    ウ. 建物    エ. 買掛金    オ. 修繕費    カ. 支払家賃

5. 損益勘定の記録によると、当期の収益総額は ¥ 1,200,000、費用総額は ¥ 900,000 であった。この差額を繰越利益剰余金勘定へ振り替える。

ア. 資本金    イ. 繰越利益剰余金    ウ. 雑益    エ. 利益準備金    オ. 雑損    カ. 損益

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第9回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 前田商店に商品 ¥ 800,000 を販売した。代金のうち ¥ 400,000 は同店振り出しの約束手形を受け取り、¥ 300,000 はすでに受け取っていた手付金と相殺し、残額は掛けとした。  
ア. 売上    イ. 売掛金    ウ. 支払手形    エ. 前受金    オ. 受取手形    カ. 仮受金
2. 仮受金として処理していた内容不明の送金小切手 ¥ 60,000 は、前期に貸し倒れ処理していた売掛金の一部回収額であることが判明した。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 100,000 である。  
ア. 現金    イ. 当座預金    ウ. 貸倒引当金    エ. 償却債権取立益    オ. 貸倒損失    カ. 仮受金
3. 決算において、売上原価を算定する。期首商品棚卸高は ¥ 120,000、当期商品仕入高は ¥ 360,000、期末商品棚卸高は ¥ 180,000 であった。なお、売上原価は仕入勘定で算定すること。  
ア. 売上原価    イ. 繰越商品    ウ. 売上    エ. 貯蔵品    オ. 損益    カ. 仕入
4. 収入印紙 ¥ 5,000 と郵便切手 ¥ 10,000 を郵便局で購入し、代金は現金で支払った。  
ア. 通信費    イ. 当座預金    ウ. 租税公課    エ. 法定福利費    オ. 消耗品費    カ. 現金
5. 決算において、税引前当期純利益 ¥ 1,500,000 の 40% を法人税等に計上した。なお、当社はすでに ¥ 250,000 を中間納付しており、仮払法人税等で処理している。  
ア. 繰越利益剰余金    イ. 損益    ウ. 未払法人税等    エ. 租税公課    オ. 法人税等  
カ. 仮払法人税等

### 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第10回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。

1. 販売目的の中古車を ¥ 400,000 で購入し、代金は月末に支払うことになった。また、中古車の輸送費用 ¥ 50,000 を現金で支払った。なお、当社は中古車販売業を行っている。

ア. 車両運搬具    イ. 未払金    ウ. 仕入    エ. 支払運賃    オ. 現金    カ. 買掛金

2. 浅井商店に対する買掛金 ¥ 220,000 について、取引銀行を通じて電子記録債務の発生記録を行った。

ア. 電子記録債権    イ. 売掛金    ウ. 電子記録債務    エ. 立替金    オ. 買掛金    カ. 預り金

3. 前期に発生した売掛金 ¥ 100,000 が貸し倒れた。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 150,000 である。

ア. 貸倒引当金    イ. 貸倒損失    ウ. 売掛金    エ. 償却債権取立益    オ. 貸倒引当金繰入  
カ. 貸倒引当金戻入

4. ×1年8月1日に取得した業務用コピー機（取得原価：¥ 600,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：5年、減価償却の計算方法：定額法、記帳方法：間接法）を、×3年5月31日に ¥ 450,000 で売却し、売却代金は月末に受け取ることにした。当社の決算日は3月31日であり、取得年度および売却年度の減価償却費は月割りで計算する。なお、当期の減価償却費は減価償却累計額を経由せずに直接計上すること。

ア. 未収入金    イ. 減価償却累計額    ウ. 減価償却費    エ. 固定資産売却益    オ. 備品  
カ. 固定資産売却損

5. 期中において中間申告を行い、法人税 ¥ 140,000、住民税 ¥ 40,000 および事業税 ¥ 70,000 を現金で納付した。

ア. 未払法人税等    イ. 現金    ウ. 法人税等    エ. 租税公課    オ. 法定福利費  
カ. 仮払法人税等

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第1回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	ウ ( 仕 入 )	1,000,000	オ ( 買 掛 金 )	1,100,000
	ア ( 仮 払 消 費 税 )	100,000		
2	オ ( 電 子 記 録 債 権 )	180,000	ア ( 売 掛 金 )	180,000
3	イ ( 当 座 預 金 )	100,000	エ ( 当 座 借 越 )	100,000
4	カ ( 車 両 運 搬 具 )	3,060,000	ウ ( 当 座 預 金 )	2,000,000
			エ ( 未 払 金 )	1,000,000
			ア ( 現 金 )	60,000
5	ウ ( 給 料 )	2,000,000	イ ( 社 会 保 険 料 預 り 金 )	250,000
			カ ( 普 通 預 金 )	1,750,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第2回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	カ ( 仕 入 )	700,000	エ ( 現 金 )	500,000
			イ ( 買 掛 金 )	200,000
2	カ ( クレジット売掛金 )	194,000	ア ( 売 上 )	200,000
	ウ ( 支 払 手 数 料 )	6,000		
3	ア ( 借 入 金 )	3,000,000	オ ( 当 座 預 金 )	3,090,000
	カ ( 支 払 利 息 )	90,000		
4	ウ ( 所 得 税 預 り 金 )	600,000	オ ( 現 金 )	600,000
5	ア ( 仮 受 消 費 税 )	240,000	エ ( 仮 払 消 費 税 )	80,000
			カ ( 未 払 消 費 税 )	160,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第3回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	ウ ( 仕 入 )	605,000	ア ( 買 掛 金 )	600,000
			カ ( 現 金 )	5,000
2	イ ( 貸 倒 引 当 金 )	180,000	ウ ( 売 掛 金 )	200,000
	オ ( 貸 倒 損 失 )	20,000		
3	カ ( 現 金 過 不 足 )	18,200	エ ( 現 金 )	18,200
4	イ ( 普 通 預 金 松 平 銀 行 )	1,000,000	エ ( 現 金 )	2,000,000
	カ ( 普 通 預 金 今 川 銀 行 )	1,000,000		
5	ア ( 消 耗 品 費 )	50,000	オ ( 現 金 )	20,000
			イ ( 未 払 金 )	30,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第4回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	ウ ( 売 掛 金 )	180,000	ア ( 売 上 )	180,000
	オ ( 発 送 費 )	5,000	カ ( 現 金 )	5,000
2	イ ( 旅 費 交 通 費 )	7,000	カ ( 現 金 過 不 足 )	7,000
3	エ ( 現 金 )	3,090,000	ア ( 貸 付 金 )	3,000,000
			オ ( 受 取 利 息 )	90,000
4	ウ ( 減 価 償 却 累 計 額 )	216,000	エ ( 備 品 )	360,000
	イ ( 現 金 )	100,000		
	ア ( 固 定 資 産 売 却 損 )	44,000		
5	カ ( 当 座 預 金 )	600,000	オ ( 資 本 金 )	600,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第5回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	イ ( 仕 入 )	800,000	オ ( 支 払 手 形 )	400,000
			カ ( 前 払 金 )	300,000
			ア ( 買 掛 金 )	100,000
2	エ ( 普 通 預 金 )	100,000	カ ( 償 却 債 権 取 立 益 )	100,000
3	ウ ( 仮 払 金 )	50,000	オ ( 現 金 )	50,000
4	エ ( 貯 蔵 品 )	1,840	カ ( 租 税 公 課 )	1,000
			ア ( 通 信 費 )	840
5	ア ( 社会保険料預り金 )	250,000	ウ ( 現 金 )	500,000
	オ ( 法定福利費 )	250,000		

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第6回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	ウ ( 前 払 保 険 料 )	160,000	オ ( 保 険 料 )	160,000
2	カ ( 現 金 )	60,000	オ ( 仮 受 金 )	60,000
3	エ ( 土 地 )	3,100,000	オ ( 当 座 預 金 )	3,100,000
4	エ ( 給 料 )	1,000,000	イ ( 従 業 員 貸 付 金 )	200,000
			ア ( 所 得 税 預 り 金 )	100,000
			ウ ( 当 座 預 金 )	700,000
5	ア ( 繰越利益剰余金 )	550,000	ウ ( 未 払 配 当 金 )	500,000
			オ ( 利 益 準 備 金 )	50,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第7回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	カ ( 通 信 費 )	16,200	オ ( 現 金 過 不 足 )	11,200
	ウ ( 雑 損 )	400	イ ( 受 取 手 数 料 )	5,400
2	ウ ( 普通預金毛利銀行 )	500,000	カ ( 普通預金宇喜多銀行 )	500,500
	イ ( 支 払 手 数 料 )	500		
3	ア ( 現 金 )	70,000	カ ( 仮 払 金 )	50,000
	イ ( 旅 費 交 通 費 )	40,000	オ ( 売 掛 金 )	60,000
4	カ ( 受 取 商 品 券 )	200,000	イ ( 売 上 )	300,000
	ウ ( 売 掛 金 )	100,000		
5	オ ( 租 税 公 課 )	180,000	ア ( 現 金 )	180,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第8回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	オ ( 売 掛 金 )	3,300,000	イ ( 売 上 )	3,000,000
			エ ( 仮 受 消 費 税 )	300,000
2	カ ( 旅 費 交 通 費 )	7,000	エ ( 現 金 )	18,200
	イ ( 通 信 費 )	16,200	オ ( 受 取 手 数 料 )	5,400
	ア ( 雑 損 )	400		
3	カ ( 仕 入 )	600,000	ア ( 当 座 預 金 )	600,000
4	ウ ( 建 物 )	3,000,000	ア ( 未 払 金 )	5,000,000
	オ ( 修 繕 費 )	2,000,000		
5	カ ( 損 益 )	300,000	イ ( 繰越利益剰余金 )	300,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第9回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	オ (受取手形)	400,000	ア (売上)	800,000
	エ (前受金)	300,000		
	イ (売掛金)	100,000		
2	カ (仮受金)	60,000	エ (償却債権取立益)	60,000
3	カ (仕入)	120,000	イ (繰越商品)	120,000
	イ (繰越商品)	180,000	カ (仕入)	180,000
4	ウ (租税公課)	5,000	カ (現金)	15,000
	ア (通信費)	10,000		
5	オ (法人税等)	600,000	カ (仮払法人税等)	250,000
			ウ (未払法人税等)	350,000

## 簿記3級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第10回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	ウ (仕入)	450,000	カ (買掛金)	400,000
			オ (現金)	50,000
2	オ (買掛金)	220,000	ウ (電子記録債務)	220,000
3	ア (貸倒引当金)	100,000	ウ (売掛金)	100,000
4	ウ (減価償却費)	20,000	オ (備品)	600,000
	イ (減価償却累計額)	200,000	エ (固定資産売却益)	70,000
	ア (未収入金)	450,000		
5	カ (仮払法人税等)	250,000	イ (現金)	250,000

※重要仕訳 TOP100 の PDF は、本試験を想定してランダムに組み合わせて出題しています。論点ごとにまとめた WEB 上の解説とは順番が異なりますので、解説をご確認いただく場合は、以下の「PDF 用の解説一覧ページ」をご利用ください。

URL : <https://boki-navi.com/3qr2021/>

QR コード :

